

入学式を迎えて

第46期生 1年生 荒井 賢

私たち46期生5名は、4月6日、国立療養所長島愛生園附属看護学校に入学しました。

長島を包み込む美しい海を眺め、これから学生生活が始まるのだと実感し、改めて看護師になる決意をしました。准看護学校での学びをいかし、看護師になるための確かな知識・技術を身につけ、学生生活の中で看護師に必要な態度を磨いていきたいです。

ここ長島愛生園でハンセン病療養所の歴史やハンセン病の知識・尊厳の回復、生活史などさまざまなことを学んでいきたいです。さらに、入所者さんと関われる貴重な機会をとおり、様々な思いや考えを知り、愛生園で学ぶ看護学生として倫理に基づく看護について深めていきます。そして、入学式で学校長先生が言われたような「心の財産」を創っていき、未来に繋げていきたいと思います。

私たち1年生は5名という少人数ではありますが、1日1日を大切に、お互いを思いやり、協力し合いながら学生生活に臨み、学びを深めていきたいです。そして、全員で患者さんの気持ちに寄り添い、信頼される看護師になることを目指して学校生活を送りたいと思います。

